

科目名	医用機器安全管理学Ⅱ			授業の種類	講義	講師名
授業回数	15 回	時間数	30 時間 1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期
						3年 通年
【授業の目的・ねらい】 医療機器安全管理学は、臨床工学技士のすべての領域でもっとも基本的な医療機器の安全管理について学びます。2年次に学んだ内容をベースに各論を深く学ぶとともに、実臨床を想定した安全について学ぶことを目的とする。						
【実務者経験】 臨床工学技士として姫路聖マリア病院に勤務。手術室を中心に医療機器管理業務に従事。						
【授業全体の内容の概要】 人体の各種エネルギー反応や各医療機器における安全基準、病院設備について、また医療安全の体系的な概要について把握することで、臨床での働き方となるよう、実践的な知識の習得を目指す。						
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ①各種エネルギーの安全閾値や対策、設備の安全などについて説明できる。 ②安全におけるシステムや関係法規等について説明できる。						
回数	講義内容					準備物(教材)
1	オリエンテーション、臨床工学技士と医療機器の関わりについて理解できる					
2	各種エネルギーを用いた医療機器の安全管理が理解できる①					
3	各種エネルギーを用いた医療機器の安全管理が理解できる②					
4	ME機器の電氣的安全管理について理解できる					
5	病院の電気設備について理解できる①					
6	病院の電気設備について理解できる②、中間テスト					
7	医療ガスの安全管理について理解できる①					
8	医療ガスの安全管理について理解できる②					
9	電磁環境の安全管理について理解できる					
10	麻酔関連の安全管理について理解できる					
11	内視鏡手術の安全管理について理解できる					
12	輸液機器の安全管理について理解できる					
13	システム安全について説明できる					
14	洗浄・消毒・滅菌について理解できる					
15	まとめ（復習、国家試験演習）					
定期筆記試験						
【使用教科書・教材・参考書】 ・臨床工学講座 医用機器安全管理学 第2版、篠原一彦ほか、医師薬出版株式会社 ・配布資料						
【準備学習・時間外学習】 ・都度、次回の授業内容を告知するため、教科書等を参考にして予習する。						
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 中間試験を30点、定期試験を70点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。						